

ことし えと 今年の干支 ヘビについて



2025年になりました。今年は巳（ヘビ）年です。ところで皆さんは実際にヘビを見たことはありますか？ヘビには「怖い」とか「気持ち悪い」というイメージを持つ方も多いかもかもしれません。今回はそんなヘビの生態について紹介します。ヘビに対するイメージが変わるかもしれません。



▲ヘビ（シマヘビ）がどこに
いるかわかるかな？



せいいたい しょうかい ヘビの生態を紹介します



ヘビはトカゲのなかま



爬虫類有隣目に属しており、トカゲと同じく、体は鱗でおおわれています。変温動物といって、自分で体温を調節できないので、頻繁に日光浴をします。本州にいるヘビは、気温が低くなる冬は、温度変化の少ない土の中で冬眠をします。



にくしょくどうぶつ ヘビは肉食動物

ヘビの好物はカエルで、捕まえるために水辺に潜んでいることがあります。歩く際は注意しましょう

だっぴ ヘビは脱皮をします



エビやカニ等の甲殻類、昆虫などは、体の外側が骨格でおおわれているため、体の成長に伴って脱皮をしますが、ヘビの脱皮はそれとは少し違います。ヘビの体は表皮でおおわれており、古くなった表皮を更新するために、脱皮をしています。つまりヘビの脱皮は人間でいうところの「垢」を落とすようなもので、日焼けした皮膚がペリッとめくれる感じが近いです。ヘビの脱皮がよく知られるのは脱皮した皮がそのまま残るからかもしれません。

マムシについて

体長：40～65cm

体の銭形模様が特徴



▲マムシは六甲山にも

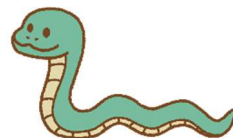
毒を持っているヘビとして有名です。好んで人間を襲ってくることはありませんが、知らずに踏んでしまうと、反撃で噛まれてしまうことも。咬まれると体内に毒が入り、症状が悪化してしまうのですので、すぐに病院にいきましょう。

からだ ひみつ しょうかい ヘビの体の秘密を紹介



1.ヘビは手足がないのにどうやって前に進んでいるの？

ヘビは動くときに、体をくねらせて進みます。これは「**のたくり運動**」と呼ばれヘビの代表的な移動方法です。しかし、ガラス面やつるつるした床の上ではもがくばかりで、なかなか進むことができません。実は、ヘビのおなかには幅広のうろこ（腹板）があって、この腹板を移動面の小さな突起などにおしつけ、それを「足がかり」にしながら体を押し出して進んでいくのです。



おなかの幅広のうろこ（腹板）



2.ヘビが舌をチョロチョロ出すのは何のため？

ヘビには、**ヤコブソン器官**という空気中の「におい」を感じ取る器官がよく発達しています。ヘビは頻りに舌を出し入れすることで「におい」の微粒子をこの器官に取り込み、外敵や獲物の存在を嗅ぎ取っているのです。また、ヘビの舌は空気の流れや温度差なども感じとることができます。ちなみに、舌が二つに分かれているのは、左右で感じるにおいの微妙な違いから、周りの状況を把握するためともいわれています。

舌で敵や獲物の「におい」を察知しています



アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148

竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

